



報道関係者各位

2020 年 8 月 4 日
アイディア株式会社

海事産業プラットフォーム「Aisea（アイシア）」に、 東京計器が 20 年以上研究し続ける DAC（衝突危険範囲）の最新 版がリリース

アイディア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：下川部 知洋、以下当社）が運営する海事産業プラットフォーム「Aisea（アイシア）」に、東京計器株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：安藤 毅、以下「東京計器」）が 20 年以上研究し続ける DAC（ダック：衝突危険範囲）（※1）の最新版が 2020 年 8 月 3 日にリリースされたことをお知らせいたします。

（※1）DAC は、Dangerous Area of Collision の略で、衝突危険範囲



■Aisea（アイシア）に DAC（ダック）が搭載された経緯

今回リリースした最新版の DAC は、当社が東京計器より DAC アルゴリズムの提供を受けてから約 3 ヶ月で実装が完了しました。これまで、DAC は船用機器を介して操船者に提供されてきましたが、実装のしやすさや、低コストで手軽な提供方法としてこの度 Aisea が採択されました。また、Aisea はスマートデバイス（スマートフォンやタブレット）での見やすさや操作性に優れ、DAC がもたらす効果の最大化を実現します。

DAC は Aisea プラットフォームにある法人向けアプリ「Aisea PRO」にてご利用いただけます。

・ AppStore：<https://apps.apple.com/jp/app/id1478084718>

※ご利用には別途ご契約が必要となります。

■Aisea（アイシア）について

スマートデバイスやパソコン上で、船舶の動静を中心とした海洋の物体を可視化し、海事産業に携わる各々が必要とするシステムの実装を容易にするプラットフォームです。IT の専門知識がなくても、比較的短期間でシステムの開発・運用ができる仕組みを提供し、海事産業における DX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させます。

・ サービスサイト：<https://aisea.net>



▲Aisea（アイシア）概念図

■DAC（ダック：衝突危険範囲）について

1995 年にはじめて航海用レーダー「BR-3440」に搭載された危険領域表示技術で、船舶同士の衝突防止に寄与する技術です。東京計器が 20 年以上研究し続け、今回リリースした最新版の DAC は Aisea にリリースされ、はじめてスマートデバイスのアプリを介しての提供となります。アプリ画面には他船との衝突の危険を図示し、危険度は直感的に認識できるよう赤・黄・青に色分けされます。この新型 DAC は日本特許（特許第 6618562 号）を取得し、外国特許についても出願中です。



▲Aisea PROにおけるDAC表示例

■ アイディア株式会社について

所在地 : 東京都渋谷区代々木1丁目30-14 天翔オフィス 代々木ANNEX 213
創業 : 2017 年 11月
資本金 : 3.8 億円
代表取締役社長CEO : 下川部 知洋
従業員数 : 20 名
事業内容 : 海事産業プラットフォーム「Aisea」サービス
船舶動静共有航行システム開発・運用
企業 URL : <https://aidea.biz>
Youtube : https://www.youtube.com/channel/UC_M7viVlinoMIjVf8WRhbRA

【代表取締役社長CEO 下川部 知洋プロフィール】

大学卒業後、大手SI 企業の IT エンジニアとして従事し、クラウドサービス事業を営む株式会社ブリスコラを創業しました。

2017 年に、海事イノベーションを決意しアイディア株式会社を創業。代表取締役を務め、IT エンジニアとしての技術力と、港湾事業者としての知見・業界ネットワークを活かし、Aisea サービスの拡大に注力しています。

2018 年には祖業として北海道の港湾事業を営む協立海上運輸株式会社の代表取締役に就任しました。

【本件に関するお問い合わせ先】

アイディア株式会社 広報担当：榎本
TEL：03-6276-7640 E-mail：pr@aidea.biz